

風水害から身を守る5つのポイント

ポイント① 風水害時に出される情報と警戒レベルを確認しましょう

警戒レベル	避難情報 市民のみなさんに行動を促す情報	市民のみなさんがとるべき行動	気象情報等 警戒レベルに相当する気象庁等の情報
レベル 5	緊急安全確保  <small>※必ず発令される情報ではありません。</small>	災害が発生・切迫しており、命が危険な状態です。直ちに身の安全を確保しましょう。	大雨特別警報 氾濫発生情報
警戒レベル4までに全員避難!!			
レベル 4	避難指示 	危険な場所から全員避難しましょう。移動が危険と思われる場合は、近隣や自宅内のなるべく安全な場所へ避難しましょう。	土砂災害警戒情報 氾濫危険情報
レベル 3	高齢者等避難 	避難に時間がかかる人(高齢者や障害のある人など)とその支援者は、危険な場所から避難しましょう。それ以外の人は、避難の準備をしましょう。	大雨警報 洪水警報 氾濫警戒情報
レベル 2		避難に備え、避難先や避難経路などを確認しましょう。	大雨注意報 洪水注意報 氾濫注意情報
レベル 1		災害への心構えをし、非常持ち出し品の準備や情報収集を行いましょ。	早期注意情報 (警報級の可能性)

※状況が急変することもあるため、情報が警戒レベル1から5の順番で発令(発表)されるとは限りません。

■雨量情報

次のような場合に、気象庁から「注意報」「警報」「特別警報」が発表されます。

大雨・洪水注意報		大雨・洪水警報		大雨特別警報	
災害が発生するおそれがある		重大な災害が発生するおそれがある		警報よりもはるかに高い危険度	
大雨	大雨による土砂災害や浸水害が発生するおそれがあると予想したときに発表。	大雨	大雨による重大な土砂災害や浸水害が発生するおそれがあると予想したときに発表。	大雨	台風や集中豪雨により数十年に一度の降雨量となる大雨が予想される場合に発表。
洪水	河川の上流域での大雨や融雪によって下流で生じる増水により洪水災害が発生するおそれがあると予想したときに発表。	洪水	河川の上流域での大雨や融雪によって下流で生じる増水や氾濫により重大な洪水災害が発生するおそれがあると予想したときに発表。	※「洪水」は、指定河川洪水予報を発表しているため、特別警報の設定はありません。	

■気象情報

気象庁は、災害防止のため、注意を呼びかけたり、警報・注意報の内容を補完するために気象情報を発表します。大きな災害の発生に関係する気象情報には、以下のようなものがあります。

土砂災害警戒情報	記録的短時間大雨情報	顕著な大雨に関する気象情報
大雨警報（土砂災害）の発表後、命に危険を及ぼす土砂災害がいつ発生してもおかしくない状況となったときに、市町村長の避難指示の発令判断や住民の自主避難の判断を支援するよう、対象となる市町村を特定して警戒を呼びかける情報。	数年に一度程度しか発生しないような短時間の大雨を、観測（地上の雨量計による観測）したり、解析（気象レーダーと地上の雨量計を組み合わせた分析：解析雨量）したりしたときに発表。	大雨による災害発生の危険度が急激に高まっている中で、線状降水帯※が発生した場合に発表する情報です。 ※ 次々と発生する発達した雨雲（積乱雲）が列をなした、組織化した積乱雲群によって、数時間にわたってほぼ同じ場所を通過または停滞することで作り出される、線状に伸びる長さ50～300km程度、幅20～50km程度の強い降水をとらえる雨域

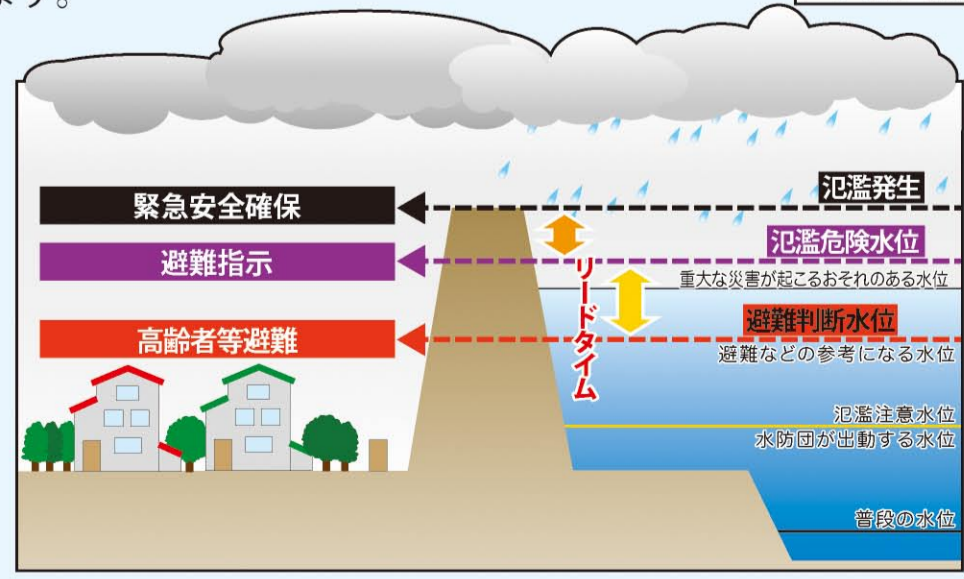
■河川の水位情報

宮城県河川流域情報システム



河川の水位情報は、河川氾濫に対する避難の目安の情報です。水位情報は、テレビのデータ放送やインターネットで確認することができます。

警戒水位等	発令される避難情報(目安)	観測所における基準水位	
		七北田川	砂押川
氾濫発生	緊急安全確保(警戒レベル5)	—	—
計画高位	—	6.032m	3.213m
氾濫危険水位	避難指示(警戒レベル4)	4.30m	2.60m
避難判断水位	高齢者等避難(警戒レベル3)	4.00m	2.50m
氾濫注意水位	—	3.35m	2.40m



● 基準水位は、避難指示が発令される前に避難を完了できるようにリードタイム(避難等にかかる時間)を考慮して設定しています。

風水害から身を守る5つのポイント

ポイント② 風水害時の避難行動を確認しましょう

平時に
確認

「自らの命は自らが守る」意識を持ち、自宅の災害リスクととるべき行動を確認しましょう。

避難行動判定フロー

あなたがとるべき避難行動は？ **必ず取組みましょう**

ハザードマップ*で自分の家がどこにあるか確認し、印をつけてみましょう。

※ハザードマップは浸水や土砂災害が発生するおそれの高い区域を着色した地図です。着色されていないところでも災害が起こる可能性があります。

家がある場所に色が塗られていますか？

いいえ

色が塗られていなくても、周りと比べて低い土地や崖のそばなどにお住まいの方は、市区町村からの避難情報を参考に必要に応じて避難してください。

はい

災害の危険があるので、原則として*、自宅の外に避難が必要です。

例外

※浸水の危険があっても、
①洪水により家屋が倒壊又は崩落してしまうおそれの高い区域の外側である
②浸水する深さよりも高いところにいる
③浸水しても水がひくまで我慢できる、水・食糧などの備えが十分にある場合は自宅に留まり安全確保をすることも可能です。

ご自身または一緒に避難する方は避難に時間がかかりますか？

いいえ

はい

安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人はいますか？

はい

いいえ

警戒レベル3が出たら、**安全な親戚や知人宅に避難**しましょう(日頃から相談しておきましょう)

警戒レベル3が出たら、市区町村が指定している**指定緊急避難場所**に避難しましょう

安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人はいますか？

はい

いいえ

警戒レベル4が出たら、**安全な親戚や知人宅に避難**しましょう(日頃から相談しておきましょう)

警戒レベル4が出たら、市区町村が指定している**指定緊急避難場所**に避難しましょう

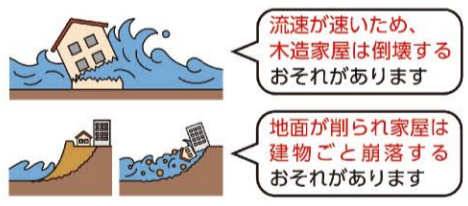
※出典:内閣府

ポイント③ 風水害時の避難行動を決めておきましょう



「3つの条件」が確認できれば浸水の危険があっても自宅に留まり安全を確保することも可能です

- ① 家屋倒壊等氾濫想定区域に入っていない (入っていると・・・) (16 ページ参照)
- ② 浸水深より居室は高い
- ③ 水が引くまで我慢でき、水・食糧などの備えが十分 (十分じゃないと・・・)



3-4階	5m~10m未満 (3階床上浸水~4階軒下浸水)
2階	3m~5m未満 (2階床上~軒下浸水)
1階	0.5m~3m未満 (1階床上~軒下浸水)
1階床下	0.5m未満 (1階床下浸水)



※出典：内閣府(防災担当)・消防庁

避難行動について

立退き避難

浸水、家屋倒壊・流出、土砂災害の危険区域から離れ、安全な場所へ避難します。

離れた場所への移動のため、避難に一定の時間が必要です。事前に安全な避難経路や移動手段を確認したうえで、余裕を持って避難を開始しましょう。

屋内安全確保

浸水、家屋倒壊・流出、土砂災害の危険がない場所または影響が少ない場所で、屋外に避難する方がかえって危険と判断される場合は、自宅などその場に留まり、安全を確保します。

電気・水道・ガスの停止に備えた準備や食料、水、常備薬などの用意を日頃からしておきましょう。

風水害から身を守る5つのポイント

ポイント④ 平時からできることに取り組みましょう

積極的な情報収集を

テレビ、ラジオ、携帯電話、インターネット等で、気象情報、災害情報などを収集しましょう。



早めの避難を

雨の降り方などに注意し周囲が浸水する前に地域で声を掛け合って避難しましょう。



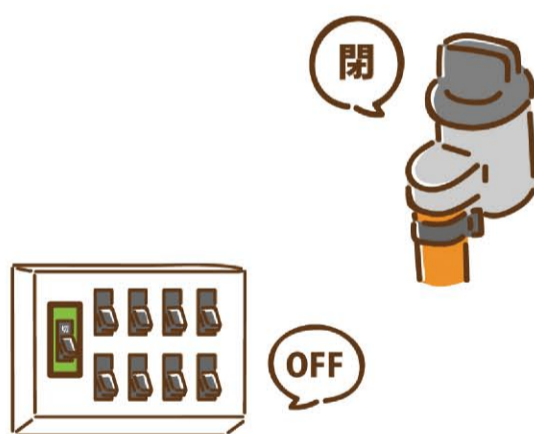
川などに近づかない

増水した河川や田畑など危険な箇所の様子を見に行くのはやめましょう。



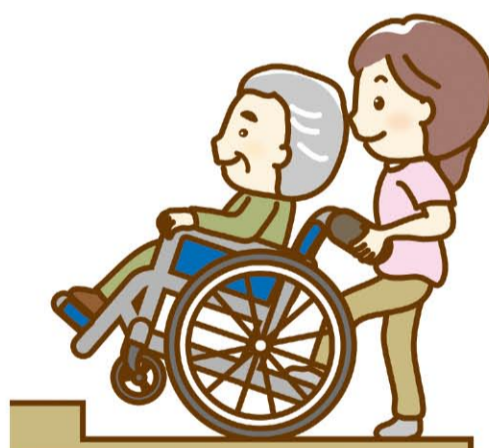
火の元の確認を

忘れずにガスの元栓を閉め、電気のブレーカーを切りましょう。



要配慮者の避難に協力を

早めの避難が必要な近所の要配慮者の避難に協力しましょう。



持ち物や服装を考える

荷物は最小限にして背負い、両手が使えるようにしましょう。



2人以上での避難を

避難する時は、2人以上での行動を心がけましょう。



屋外に出るのが危険な場合は「緊急安全確保」

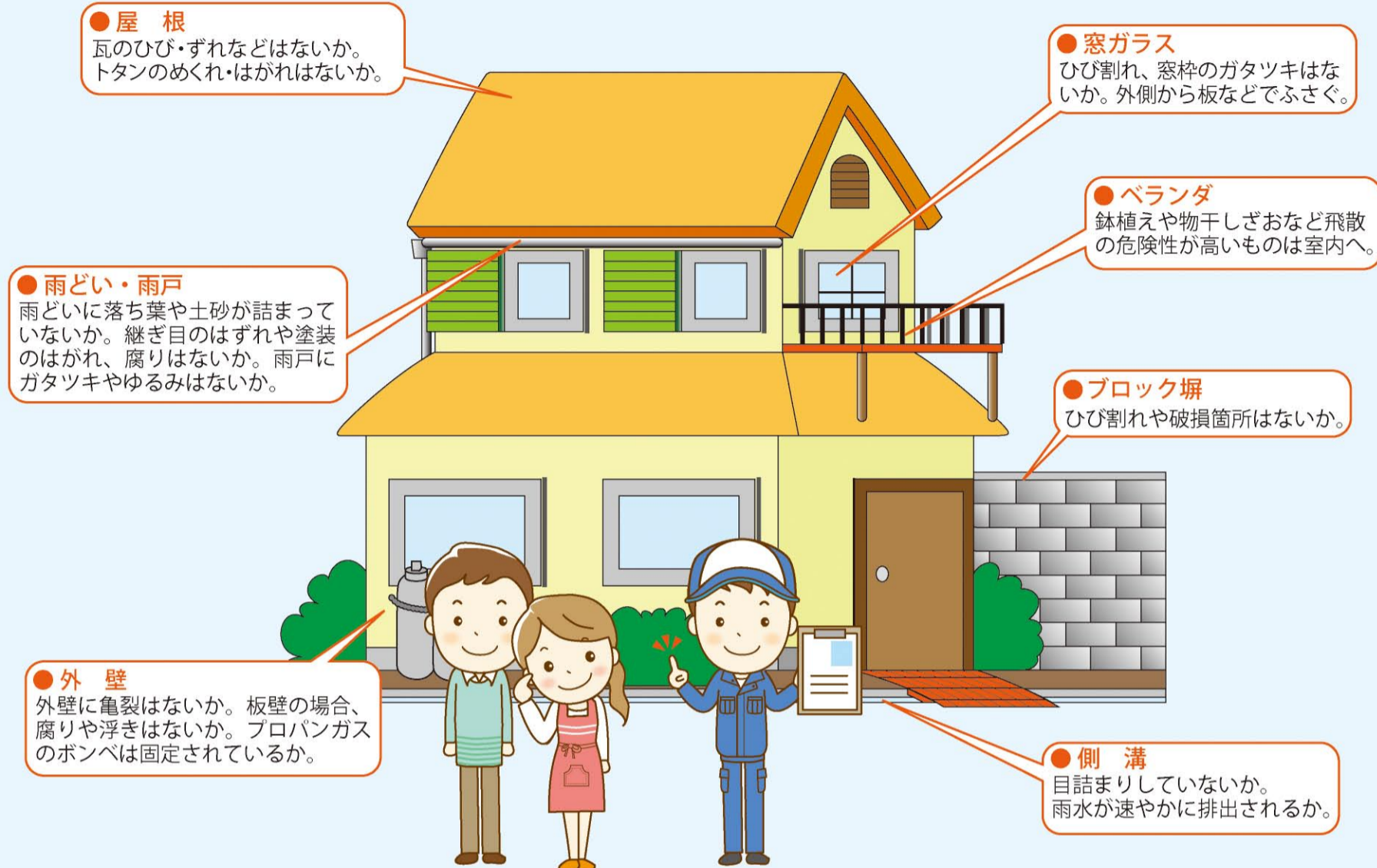
周辺が浸水し、屋外に出るのが危険な場合は、近くの高い建物や自宅の2階以上に避難しましょう。

「緊急安全確保」



■家屋の風水害対策(平時からできること)

風水害による家屋の被害を抑えるために、日頃から家の周りの点検や整備を行いましょう。



■住宅の浸水被害を防ぐためには

雨水が浸入しないように土のう、止水板を設置することや、普段から道路の側溝などを掃除して、雨水が排水できるようにしておくことで、住宅の浸水被害を防ぐことができます。

●土のう
出入りにブルーシート等で包んだ土のうを置き、雨水の浸入を防ぎます。

●止水板
出入りに長めの板などを設置して、水のうなどで固定して、浸水を防ぎます。板がない場合は、テーブル・タンス・ロッカー・畳などで代用することも可能です。

●側溝や雨水ますの集水口の確認
道路の側溝や雨水ますの集水口(グレーチング)に落ち葉などが詰まっていないか確認しましょう。詰まっていたら、取り除いておきましょう。

●土のうの代用品

ポリタンク

水のう

プランター

風水害から身を守る5つのポイント

ポイント⑤風水害時のマイ・タイムラインを作しましょう

マイ・タイムラインとは、いざというときに、あわてることのないよう、避難に備えた行動を一人ひとりがあらかじめ決めておくものです。家族で話し合っ、シートに記入することにより、適切な避難行動を事前に整理できます。

記入例

赤字の箇所が記入例です。
必要な項目にチェックをつけましょう。

記入例を参考に、我が家のマイ・タイムラインを作しましょう。
作り終わったマイ・タイムラインは目立つ場所に貼っておきましょう。

ペットがいる場合は、ペットを避難させる計画を書いておきましょう

避難行動のチェック・・・避難する場所は？

避難先候補1	自宅の上階 (2階)	[移動時間] 3分
避難先候補2	〇〇小学校	[移動時間] 10分

家庭の状況のチェック・・・避難するタイミングは？

避難に支援が必要な人(高齢者、障がい者、乳幼児、妊婦など)が	ペットは？
<input checked="" type="checkbox"/> いる → レベル3 高齢者等避難 の発令で避難!	<input checked="" type="checkbox"/> いる
<input type="checkbox"/> いない → レベル4 避難指示 の発令で避難!	<input type="checkbox"/> いない
※ その他の避難のタイミング(あれば記入) 前の側溝から水があふれたとき	

親戚や知人の家の場合、
例：〇〇町の伯父さん宅

我が家の行動計画


大雨・台風の1〜3日前

注意報

警報・高齢者は避難

全員避難

災害発生

レベル1	大雨や台風の予報 早期注意情報	<input checked="" type="checkbox"/> 最新の天気予報をチェック (父) <input checked="" type="checkbox"/> 家族の今後の予定や居場所を確認 (母) <input checked="" type="checkbox"/> 家の周りの風雨で飛ばされそうなものを固定(父) <input checked="" type="checkbox"/> 非常持ち出し品(備蓄品など)を確認 (兄) <input type="checkbox"/> 親戚や知人に避難させてもらうことを連絡 <input checked="" type="checkbox"/> 家の雨戸を閉める (自分) <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> 車にガソリンを入れる <input checked="" type="checkbox"/> 常備薬・持病薬を確認 <input checked="" type="checkbox"/> 犬のケージとえさの準備
レベル2	大雨注意報 洪水注意報 氾濫注意情報	<input checked="" type="checkbox"/> 気象情報をチェック (全員) <input checked="" type="checkbox"/> 避難する場所、避難経路を再確認 (全員) <input checked="" type="checkbox"/> 携帯電話・モバイルバッテリーを充電 (全員) <input checked="" type="checkbox"/> 避難しやすい服装に着替える (全員) <input checked="" type="checkbox"/> 大事なものを2階へ移動 (父・兄) <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> 容器や浴槽に水を貯める <input checked="" type="checkbox"/> ラジオの電池を確認
レベル3	高齢者等避難 大雨警報 洪水警報 氾濫警戒情報	<input checked="" type="checkbox"/> 高齢者等避難 発令で避難先に避難開始 <input checked="" type="checkbox"/> 独自のタイミングで避難(前の側溝から水があふれたとき) <input checked="" type="checkbox"/> テレビやインターネット、携帯電話で避難所の開設状況や雨量・水位などを確認 (父) <input checked="" type="checkbox"/> 家の戸締まりをする (自分) <input checked="" type="checkbox"/> 非常持ち出し品を玄関に置く (兄) <input checked="" type="checkbox"/> 犬をケージに入れて避難の準備 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	家族の中で役割分担が決まっている場合は、 ()で誰がするか書いておきましょう。
レベル4	避難指示 土砂災害警戒情報 氾濫危険情報	<input checked="" type="checkbox"/> 避難指示 発令で避難先に避難開始 <input checked="" type="checkbox"/> 携帯電話などで最新の状況を確認 <input checked="" type="checkbox"/> 避難したことを親戚に伝える <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	
レベル5	緊急安全確保 大雨特別警報 氾濫発生情報	命の危険 直ちに安全確保! すでに災害が発生・切迫している状況! 自宅内や近くの建物などで、少しでも被害を受けるおそれの少ない場所に移動!	

※気象情報や警戒レベルが発表されるタイミングは状況により変わります。計画より早めに避難行動を起こすことも大切です。

家族構成や生活環境が変われば、マイ・タイムラインを見直しましょう!

※自宅が安全な場合でも、停電や断水などに備えて、やるべきことを考えておきましょう!

避難行動のチェック・・・避難する場所は？

家庭の状況のチェック・・・避難するタイミングは？

避難先候補 1	[移動時間] 分
避難先候補 2	[移動時間] 分

避難に支援が必要な人(高齢者、障がい者、乳幼児、妊婦など)が

いる → **レベル3 高齢者等避難** の発令で避難! ペットは? いる

いない → **レベル4 避難指示** の発令で避難! いない

※ その他の避難のタイミング(あれば記入) []

警戒レベル	行政からの情報等	我が家の行動計画
大雨・台風の1〜3日前 レベル1	大雨や台風の予報 早期注意情報	<input type="checkbox"/> 最新の天気予報をチェック <input type="checkbox"/> 家の周りの風雨で飛ばされそうなものを固定 <input type="checkbox"/> 親戚や知人に避難させてもらうことを連絡 <input type="checkbox"/> 家族の今後の予定や居場所を確認 <input type="checkbox"/> 非常持ち出し品(備蓄品など)を確認 <input type="checkbox"/> 必要な物の買い出し
注意報 レベル2	大雨注意報 洪水注意報 氾濫注意情報	<input type="checkbox"/> 気象情報をチェック <input type="checkbox"/> 携帯電話・モバイルバッテリーを充電 <input type="checkbox"/> 避難する場所、避難経路を再確認 <input type="checkbox"/> 避難しやすい服装に着替える
警報・高齢者は避難 レベル3	高齢者等避難 大雨警報 洪水警報 氾濫警戒情報	<input type="checkbox"/> 高齢者等避難 発令で避難先に避難開始 <input type="checkbox"/> 独自のタイミングで避難() <input type="checkbox"/> テレビやインターネット、携帯電話で避難所の開設状況や雨量・水位などを確認 <input type="checkbox"/> 家の戸締まりをする <input type="checkbox"/> 非常持ち出し品を玄関に置く
全員避難 レベル4	避難指示 土砂災害警戒情報 氾濫危険情報	<input type="checkbox"/> 避難指示 発令で避難先に避難開始 <input type="checkbox"/> 携帯電話などで最新の状況を確認 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
災害発生 レベル5	緊急安全確保 大雨特別警報 氾濫発生情報	命の危険 直ちに安全確保! すでに災害が発生・切迫している状況! 自宅内や近くの建物などで、少しでも被害を受けるおそれの少ない場所へ移動! 

※気象情報や警戒レベルが発表されるタイミングは状況により変わります。計画より早めに避難行動を起こすことも大切です。

防災情報の収集方法を確認しましょう

市では様々な方法で防災情報を発信しています。災害時は、時間の経過に伴い状況が変化しますので正しい情報を収集できるよう、事前に収集方法を確認しましょう。

多賀城市防災情報アプリ (要事前登録)

多賀城市内の地震情報や防災情報、防災行政無線の放送内容など「命を守る行動」につながる情報を配信します。



スマートフォン以外をご利用の方は

メール 多賀城市防災メール
(要事前登録)

防災情報アプリと同様の内容を電子メールで配信します。
※一部配信されない情報もあります。

右のQRコードからアクセスまたは以下のアドレスに空メールを送信してください。

登録用メールアドレス：t-tagajo@sg-p.jp



多賀城市防災情報アプリの機能

機能1 サイレン通知や自動音声ですぐにわかる

命に関わる情報は瞬時にお知らせします。

※スマホの機種や設定により正しく動作しない場合があります。

※マナーモード時は、サイレンや音声が出ません。



機能2 防災行政無線の放送内容を確認できる

いつでも、どこでも見ること、聞くことができます。

文字拡大

音声再生



機能3 危険度と取るべき行動がわかる

「全員避難」「安全確保」など、具体的な行動をお知らせします。



警戒レベル

- 5 命の危険 直ちに安全確保
- 4 危険な場所から 全員避難
- 3 危険な場所から 高齢者等は避難
- 2 避難行動確認
- 1 心構えを高める

機能4 防災マップを確認できる

避難所等の場所や、洪水・土砂災害や津波の警戒区域がわかります。



指定避難所



指定緊急避難場所



津波避難ビル



※各コンテンツ部分はイメージです。実際の画面と異なる場合があります。※アプリは無料で利用できますが、通信料は利用者の負担となります。

1.ストアからアプリをダウンロード

2.アプリを起動

3.設定を入力

4.登録完了!

多賀城市
防災情報
アプリ
登録手順



端末のホームから
アプリアイコンをタップ



SNS 多賀城市公式LINE (要事前登録)



SNS 多賀城市公式Twitter



SNS 多賀城市公式Facebook



どのSNSでも同じ地震情報や防災情報、避難情報などを配信します。

音声 防災行政無線 (同報系)

サイレンや音声で津波情報や避難情報などを一斉放送します。放送内容は、テレホンサービスで確認できます。



022-309-0228

メール 緊急速報メール

携帯電話会社から災害情報が配信されます。(事前登録不要)



WEB 多賀城市ホームページ

市の防災の取り組みや避難・避難所情報などを確認できます。

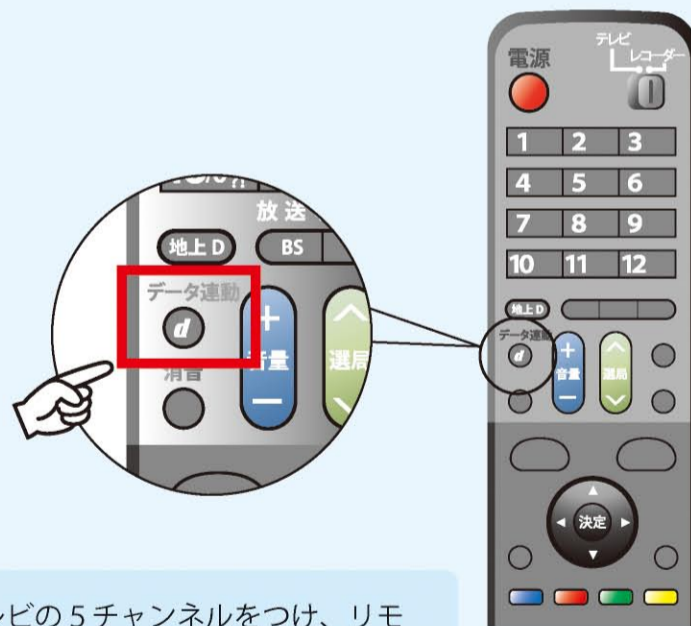


テレビ データ放送

テレビのデータ放送で避難情報や避難所開設情報などを確認できます。

- ①テレビのリモコンのdボタンを押す。
- ②リモコンの矢印で必要な情報に合わせ「決定」を押す。

台風接近時や災害発生時などは、テレビに自動的に表示されます。(L字画面)



市が直接配信する情報を確認 (k h bのみ)



市では株式会社東日本放送 (k h b) が提供するデータ放送を活用した情報発信を行っています。

- ①テレビの5チャンネルをつけ、リモコンのdボタンを押す。
- ②リモコンの矢印で必要な情報に合わせ「決定」を押す。

災害時に役立つホームページ

WEB 気象庁 (あなたの街の防災情報) <https://www.jma.go.jp/bosai/>

気象情報、地震・津波情報、天気予報などを確認できます。



WEB キキクル (気象庁発表の危険度分布) <https://www.jma.go.jp/bosai/risk/>

リアルタイムで大雨による災害発生危険度 (土砂災害、浸水害、洪水災害) を確認できます。



WEB 宮城県防災情報ポータル <https://miyagi-bousai.my.salesforce-sites.com/>

県内市町村の避難情報や避難所開設情報などを確認できます。



土砂災害の基礎知識

土砂災害の種類

※多賀城市内では、「土石流」「地すべり」の土砂災害警戒区域は指定されていません。

がけ崩れ



- 急な斜面が雨水の浸透や地震などの影響によって、突然崩れ落ちる現象です。
- 突然発生し、かつ崩れるスピードは速いです。
- 崩れた土砂は、斜面の高さの2～3倍も離れた距離まで届くことがあります。

土石流



- 山腹や川底の石、土砂が長雨や集中豪雨などの影響によって、一気に下流へと押し流される現象です。
- 規模によって異なりますが、時速20～40kmという速度で崩れ落ち、破壊力がとても大きいです。

地すべり



- 比較的緩やかな斜面が地下水などの影響によって、斜面下方へ移動する現象です。
- 斜面の表面部分が崩れ落ちる表層崩壊と、深層の地盤までもが崩れ落ちる深層崩壊があります。
- 大雨や融雪時に発生しやすく、一度に広範囲が動くため、被害が大きくなります。

土砂災害警戒区域の種類

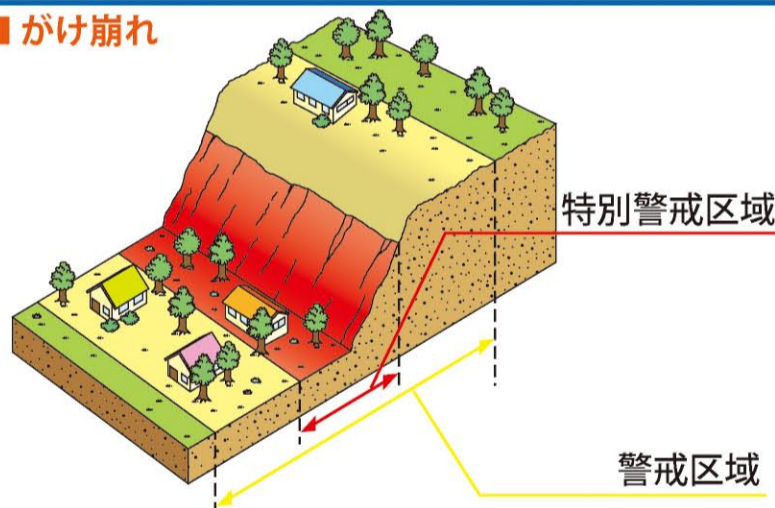
土砂災害特別警戒区域

土砂災害が発生した場合に、建築物の損壊が生じ、住民の生命または身体に著しい危害が生ずるおそれがある区域

土砂災害警戒区域

土砂災害が発生した場合に、住民の生命または身体に危害が生じるおそれがある区域

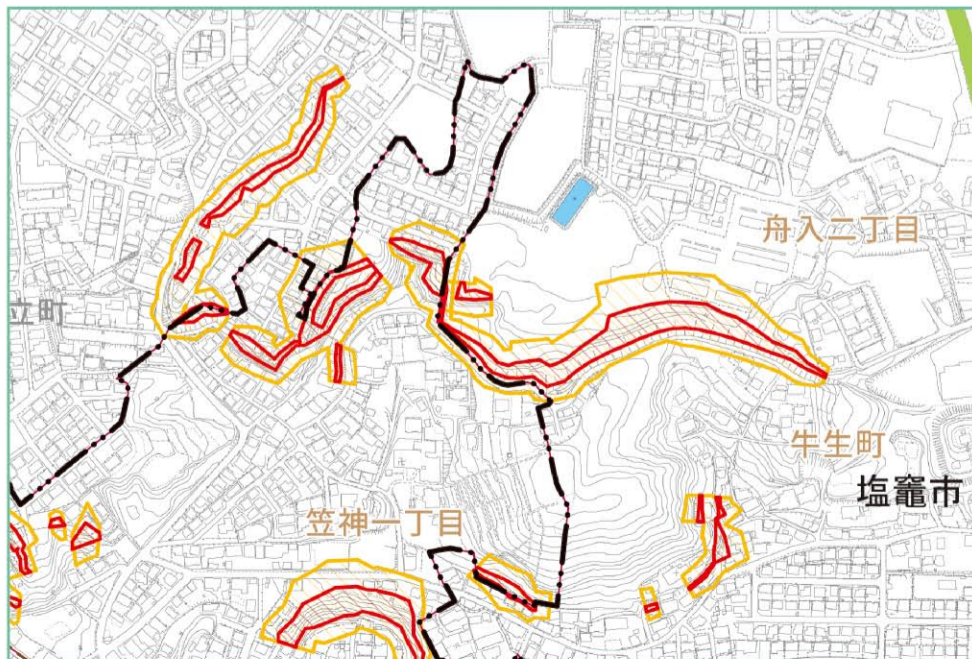
がけ崩れ



土砂災害からの避難の心得

土砂災害は、すさまじい破壊力をもつ土砂が、一瞬にして多くの人命や住宅などの財産を奪ってしまう恐ろしい災害です。がけの近く等では、大雨が降る可能性がある場合は、風雨が強くなる前に危険な場所から立退き避難をしましょう。

特に土砂災害警戒区域や土砂災害特別警戒区域は危険な場所です。ハザードマップで区域を確認しましょう。(17～24ページ)



台風の基本知識

風の強さと吹き方の目安

強風や大雨を伴った熱帯低気圧で、最大風速がおおよそ毎秒 17m 以上のものが「台風」と呼ばれます。台風が接近したら、気象情報に注意して被害を最小限に食い止めましょう。

風の強さ (予報用語)	平均風速 (m/s)	人への影響	屋外・樹木の様子	走行中の車	建造物	
やや強い風	10 以上 15 未満	風に向かって歩きにくくなる。 傘がさせない。	樹木全体が揺れ始める。 電線が揺れ始める。	道路の吹流しの角度が水平になり、 高速運転中では横風に流される感 覚を受ける。	樋(とい)が揺れ始める。	
強い風	15 以上 20 未満	風に向かって歩けなくなり、 転倒する人も出る。 高所での作業はきわめて危険。	電線が鳴り始める。 看板やトタン板が外れ始める。	高速運転中では、横風に流される 感覚が大きくなる。	屋根瓦・屋根葺材がはがれるもの がある。 雨戸やシャッターが揺れる。	
非常に 強い風	20 以上 25 未満	何かにつかまっていなくて 立ってられない。 飛来物によって負傷するおそれ がある。	細い木の幹が折れたり、 根の張っていない木が倒れ 始める。 看板が落下・飛散する。 道路標識が傾く。	通常で速度で運転するのが困 難になる。	屋根瓦・屋根葺材が飛散するもの がある。 固定されていないプレハブ小屋が 移動、転倒する。 ビニールハウスのフィルム(被覆材) が広範囲に破れる。	
	25 以上 30 未満	屋外での行動は極めて危険。		走行中のトラックが横転する。	固定の不十分な金属屋根の葺材が めくれる。 養生の不十分な仮設足場が崩落する。	
猛烈な風	30 以上 35 未満		多くの樹木が倒れる。 電柱や街灯で倒れるもの がある。 ブロック壁で倒壊するもの がある。		外装材が広範囲にわたって飛散し、 下地材が露出するものがある。	
	35 以上 40 未満					住家で倒壊するものがある。 鉄骨構造物で変形するものがある。
	40 以上					

出典:気象庁

台風時の心得

強風ときは不要不急の外出は控えましょう

台風などの強風時に外出すると、看板などの落下物や飛来物、倒れかけた樹木や折れた枝などに当たって大けがをする場合があります。強風ときは、不要不急の外出を控えましょう。また、高所での作業は極めて危険なので絶対にやめましょう。



イラスト出典:気象庁

洪水浸水想定区域

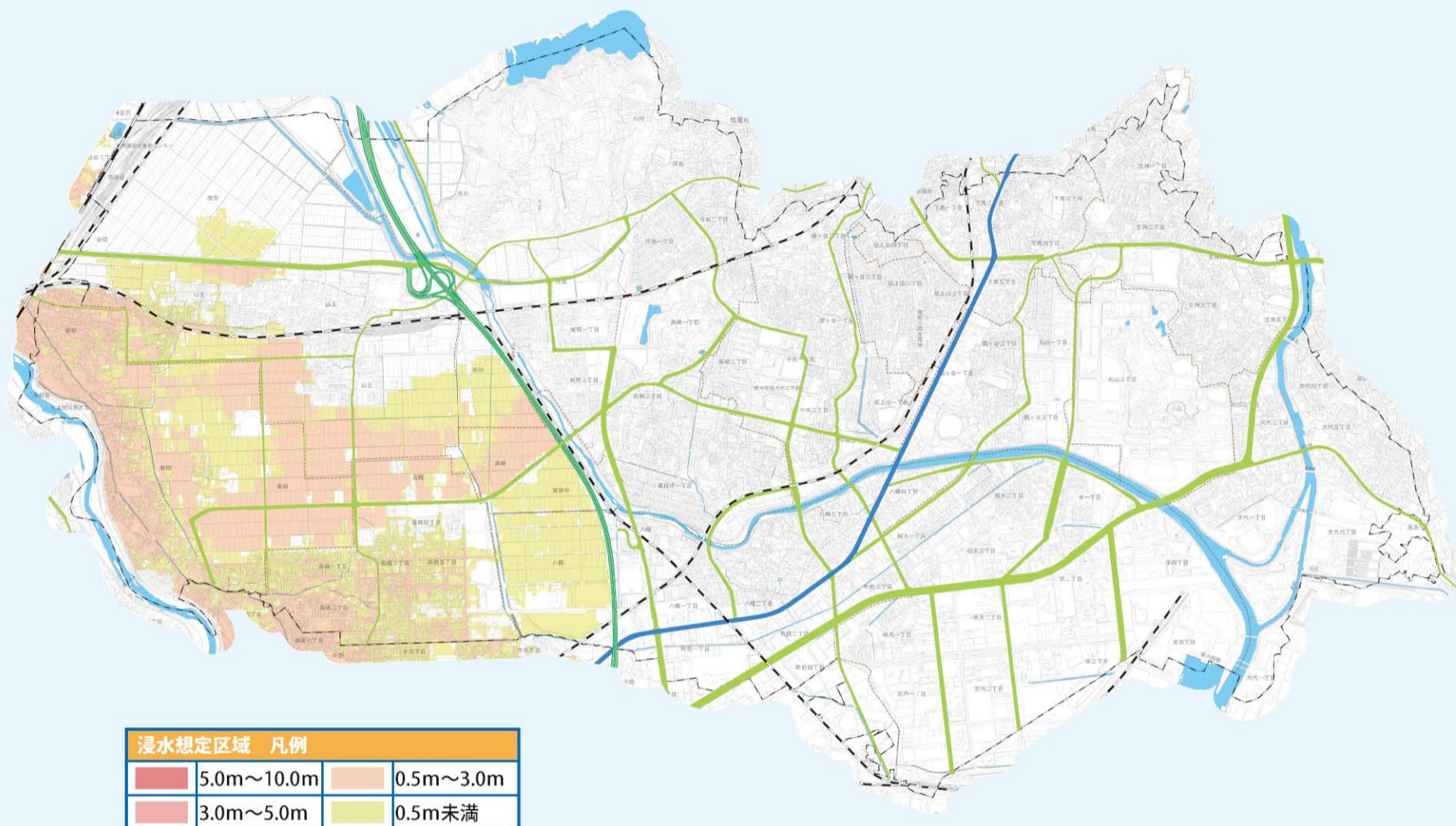
洪水浸水想定区域とは、想定した雨が降った時に浸水するおそれのある区域の浸水深を示したもので、洪水時の円滑かつ迅速な避難のための基本情報です。

多賀城市内では、七北田川及び砂押川について、宮城県より洪水浸水想定区域が指定されています。

洪水浸水想定区域には、降雨規模と発生頻度が異なる「計画規模(50年～100年に1度程度)」と「想定最大規模(1000年に1度程度)」の2つの想定があります。

今回のハザードマップでは、平成27年の水防法一部改正に基づき、「想定最大規模」で七北田川及び砂押川が氾濫した場合の洪水浸水想定区域を示しています。

計画規模降雨(50～100年に1度程度の雨)による浸水想定区域



計画規模降雨及び想定最大規模降雨

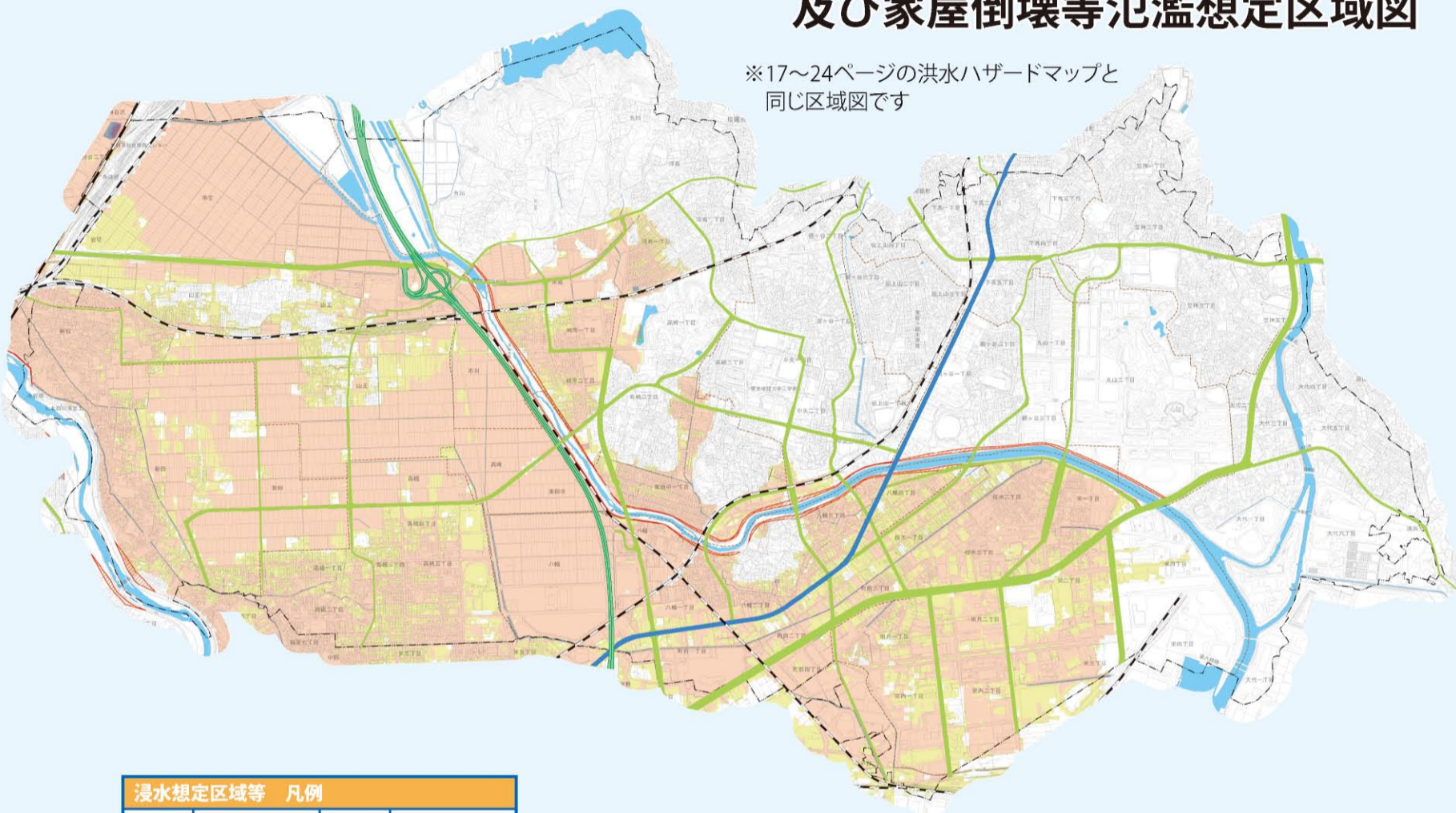
河川名	計画規模降雨	想定最大規模の降雨(1000年に1度の雨)
七北田川	流域の1日間総雨量 328.9mm (100年に1度の雨)	流域の1日間総雨量 549.5mm
砂押川	流域の1日間総雨量253mm (50年に1度の雨)	流域の1日間総雨量 723mm

※この洪水浸水想定区域図は水防法第15条の1に基づき、平成30年に宮城県が想定し得る最大規模の雨が降ったときに、砂押川、七北田川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションしたものです。

発生時の自然条件により、色が付いている範囲よりも広く浸水したり、浸水が深くなることもあります。

想定最大規模降雨(1000年に1度程度の雨)による浸水想定区域 及び家屋倒壊等氾濫想定区域図

※17～24ページの洪水ハザードマップと
同じ区域図です



浸水想定区域等 凡例			
	5.0m~10.0m		0.5m~3.0m
	3.0m~5.0m		0.5m未満
	家屋倒壊等氾濫想定区域(河岸侵食)		

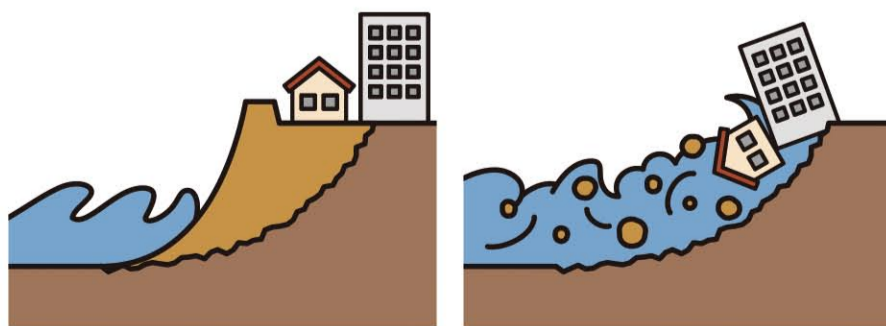
早期の立ち退き避難が必要な区域

家屋倒壊等氾濫想定区域(河岸侵食)

河川の近くは、川の流れにより(氾濫や河岸侵食により)堤防が決壊した場合に家屋が倒壊する危険性があります。市からの避難情報や川の水位に注意し、早めの避難を心がけて下さい。

河岸侵食とは・・・

川の流れにより河岸がけずられる現象を「河岸侵食」といいます。河岸侵食により、堤防が決壊するおそれがあります。



イラスト出典:内閣府防災ホームページ